

“心を踊る”

菊の会は古典舞踊の研鑽に励み、明日の新しい民族芸能の創造に情熱を燃やしています。



〈発行〉
舞踊集団 菊の会
代表 畑道代
〒151 東京都渋谷区初台1-45-6
電話 03 (320) 6001 (代表)

創立18周年を迎えて

元年に思う

代表 畑道代



青葉が目まぶしい、初夏の気配を感じさせる様な日がつづいており、皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。私共菊の会も、本年四月で十八周年を迎えることができました。

これもひとえに皆様のお力添えの賜と心より感謝申し上げます。元号も改まり、平成元年は国立劇場で、尾上流家元様との久々の舞台で幕をあげ、つづいて来年にひかえた大阪花と緑の万博のテーマソングの仕事、又昨年来つづいておられます黒澤明監督の「こんな夢をみた(仮題)」の撮影も、私の担当の所は無事終了させる事が出来ました。

十八周年という大切な節を機に、菊の会の原点でもある日本のおどりの基本を見つめ直し、その心がまえを大切に真摯に取り組んで参る所存でございます。今後共皆様のかわらぬ御支援、御厚情の程を何卒よろしくお願い申し上げます。

時代の舞踊を創る情熱

三枝孝榮

三十年前に出会う畑道代さんの主宰する菊の会が結成以来十八年になるという。まことに月日のたつのは早いものだ。もともと私にとって畑さんとの出会いはもう三十年以上になる。従って尾上菊乃里さんといったほうが今でも何かびつたりとする。

私がNHKの舞踊番組を担当していた時、先代の尾上菊之丞さんのそばにいつもつきそっていたのが菊乃里さんだった。「筋もすっかりとして、いい踊りを踊りますよ」とその先代にいわれて、当時お昼にあった踊りの時間に登場していただいた。メモによると昭和三十一年七月十三日の生放送で「野路の月」というタイトルで尾上菊之丞の振付、菊乃里、菊音、菊保、菊祐の出演であった。

とところが先代さんが亡くなって以後はあまり尾上流とテレビとの交流がなくなつたので、或る日ばつたりと出会った。日本舞踊の新しい形を追求するために

以後、その広範囲による活動は周知のとおりである、海外の公演も多く、国際的な発展も多くなった。大作の創作舞踊劇



昭和31年、NHKの舞踊番組で踊った時の尾上菊乃里

増えた海外の公演以来、その広範囲による活動は周知のとおりである、海外の公演も多く、国際的な発展も多くなった。大作の創作舞踊劇

▲▲プロフィール▲▲
三枝孝榮(さえぐさたかえ)
昭和27年慶応大学経済学部卒業
NHKに入局し舞踊番組を担当
昭和39年東京12チャンネル移籍
演出部長、演出局長など歴任
現在テレビ東京常務取締役

歌を理解した振り付け
今年の一月、現家元の主宰する舞踊会「冬夏会」の新作「道成寺昔語り」に僧の役に群舞に出ているが、日本舞踊の基本がしっかりしていることもあり立派な群舞だったのもその成果の一つだろう。また、菊の会のメンバーの人達にはよくテレビの歌番組に出ていただくことがある。その踊りもよい。単なる歌のバックの踊りに終らず、その歌をよく理解し、生活の歌として、或いは国民の歌として、いわば民俗芸能となつて振付がみられることだ。こんなところの一つ一つにも細かく畑さんの踊りへの情熱がみられるのも嬉しい。



頭ゆずりで今野昭三代表より頭をうけとる

これまで取材を重ねてきた、岩手県江刺市の民俗芸能「鹿躍」の一段階の仕上げとなる指導を受け「頭ゆずり」の儀式に、若獅子グループ、仔鹿グループの8名が、4月7日から9日の3日間現地に行つてまいりました。この鹿躍は、およそ25年前の享保年間より伝わっています。約20kgにもなる装束を身に付け、太鼓を打ちながら唄い、踊るといふ、体力的に大変きつい踊りですが、それだけに勇壮です。「頭ゆずり」の儀式は、鹿躍の魂ともいえる鹿頭を、庭元から一人一人が受けとるといふ厳粛

鹿躍の“心”受け継ぐ

なものです。メンバー一同も心をこめてこの芸能を継承し、一日も早く舞台で披露できるように、稽古に励んでおります。このメンバーがまだ幼かった頃、平野正三氏(故 庭元)が、「必ずやり切つて下さい」と、おっしゃって下さった約束を、ようやく果たせたわけです。非常に修得が難しい民俗舞踊だけに、稽古も困難でしたが、前代表の菊池辰一氏、現代代表の今野昭三氏、演技指導の菊池司氏他大勢の方々の御甚力で漸くここまでたどりつけた事に、一同心から感謝しております。

取材特報

頭ゆずりの儀式を行なう

4月7日～9日 岩手県江刺市

友の会旅行会 8月7.8.9日 みちのく芸能まつり鑑賞の旅

今年の友の会旅行会は、8月7日から2泊3日で岩手県北上市へ「みちのく芸能まつり」を鑑賞しにまいります。

みちのくは、民俗芸能の宝庫です。その中でも会場となる北上市の周辺には、鬼剣舞、鹿踊をはじめ、神楽、田植踊、盆踊など、種類・量なども多く保存传承されています。



「みちのく芸能まつり」の鬼剣舞大群舞

このまつりは、それらのうちおよそ70団体1500人が一堂に集まって乱舞するさまを、ご覧いただくというものです。民俗芸能のもつ美しさ、たくましさ、皆様に充分味わっていただけるでしょう。

畑代表はじめ菊の会の公演メンバー等と、思い出に残る夏休みとするため、ふるってご参加下さい。

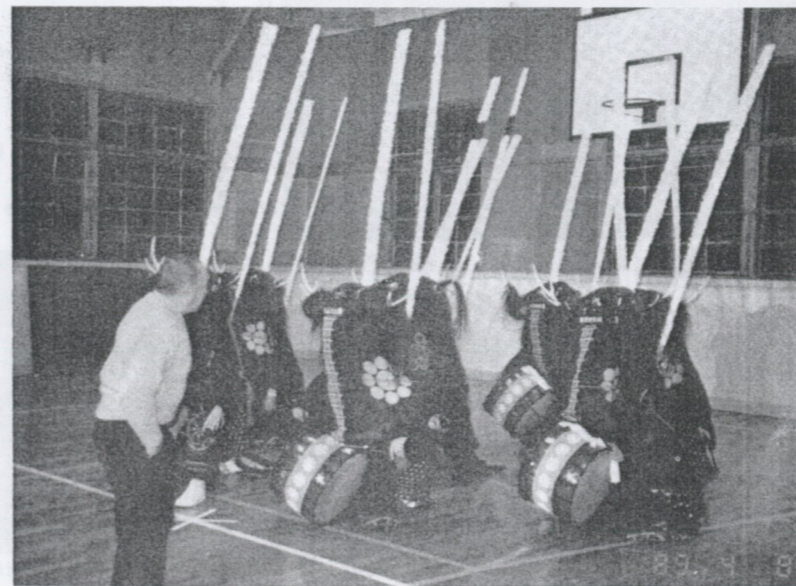
詳細は友の会事務局までお問い合わせ下さい。

6月24・25日と
沖縄県石垣市の主催で行なわれる「アジア民族芸能祭」いしがき'89に菊の会が出演いたします。

アジア民族芸能祭に参加

いしがき'89
6月24・25日 沖縄県石垣市

アジアの獅子舞と鉦打ち、青森、三重、京都、沖縄の三地方の獅子舞に加えて、菊の会も岩手県江刺市の「鹿躍」「江戸大神楽獅子舞」を演じます。



稽古を厳しく見つめる菊池辰一前代表

手作りの味—
はつかり麺
株式会社 田口製麺所
■本社・工場 〒350 埼玉県川越市南大塚495
☎0492 (43) 3528 (代)

書籍・雑誌
さとみ書房
八王子市中野山王1-10-6
TEL 0426-25-4313

田園調布教室のご案内
気軽に楽しめる民謡から古典まで幅広く稽古する教室です。年齢・性別不問。初心者歓迎致します。
お気軽に遊びにお越し下さい。
連絡先 責任者 中川 由起子
担当講師 金子 俊子
TEL 03 (771) 3643
毎週土曜日 PM6:30~8:30



家元尾上菊之丞と「蝶の道行」を舞う尾上菊乃里(畑道代)

尾上菊乃里さん畑道代さんとの出会いは、十八年前だったと思いますが、文京公会堂の「こども風土記」みちのくの章「仔鹿よ、踊れ」赤いセーターや青いパンツをはいた小さい子供供が大勢生々と踊っていました。わずかに二ヶ月の訓練での舞台と聞き、指導の先生は、どんな方かと興味を持ち、お会いしたら

小柄な、仔鹿のような方で、でも秘められた舞台に賭ける激しい情熱が、ひしひしとこちらに伝わりました。あの時の仔鹿たちも、今、若獅子に成長、先輩たちと共に、よく師の意をくみとり、菊の会を支えています。尾上菊乃里としての古典の勉強、畑道代の菊の会での新しい創造、この二つの道の併立が今、ここ

自らも古典舞踊を深め 後輩を育成する姿勢に感服

舞踊評論家 井上美千代

に開花しました。民族芸能をもとにした幾つかの創作も成功又、尾上菊乃里としての古典曲、狂言舞踊「茂登木」や「身替座禅」などにも挑戦、歌舞伎舞踊では、よく先代の薫陶のおかげで、「藤娘」「鏡獅子」などの上演で注目を浴びました。

本年の二月、日本舞踊協会公演での二代目家元菊之丞師とのコンビ「蝶の道行」の小柄では、小柄な姿をいかし、可憐な娘ぶりで、爽やかな青年像を表現する家元との哀艶せつせつたる舞台は印象的でした。

門下生たちも菊乃里さんの意をよくくみとり、古典に、創作に、充実した舞台を見せてきたのも頼もしい。しかしまだ前途は多難な事でしょう。どうぞ頑張ってください。



道成寺昔語りの一場面

おつかれさまでした!



映画の撮影を終了して黒澤監督と記念撮影に納まりました。

黒澤監督の「こんな夢を見た」(仮題) 映画の撮影が快調

畑代表が振り付けの大任を果たす



黒澤監督(右端)と打ち合わせする畑代表



狐の行列をカメラで追う黒澤監督



狐の嫁入の行列に扮する菊の会メンバー



花吹雪の舞う「桃畑」の一場面

第22号でも紹介しましたが、日本が世界に誇る映画監督、黒澤明氏の最新作「こんな夢を見た」(九つの夢を構成した作品)の撮影が順調に進んでいます。その中の舞踊シーンの振り付けを畑代表が担当し、黒澤監督演出のもと、俳優さんへの指導に当たりました。

昨年八月に横浜の黒澤監督のオフィスを訪れてから九ヶ月、畑代表が担当した三作品「日照り雨」「桃畑」「水車のある村」の撮影が無事、大成功に終了しました。

日照り雨は少年(幼年時代の黒澤監督)が天気よりの雨の降るある日、狐の嫁入りの行列を見てしまうという神秘的な魅力にあふれるお話。これには狐の嫁入り行列の一行に菊の会のメンバー十九名と大田門氏が出演しました。

又「桃畑」には六十名にのぼる人間お雛様が登場します。満開の桃畑で一面に散りかかる花吹雪の中で大群舞を展開する豪華絢爛な美の祭典を思わせるファンタジックで素晴らしいストーリーです。

このロケーションでは山の斜面を切り崩して階段を作り、両サイドのイントレからも又二台のクレーン車の上からも花吹雪が舞い散り、数十メートルの高さの櫓の上からカメラを回すという大がかりなもの。(黒澤組ではこの程度はごく普通とか)

そして、五月十三日から行われた「水車のある村」のロケは、全国で最も自然に恵まれ、小川の美しい場所という事で、長野県穂高の安曇野万水川畔が選ばれました。天寿をまつとうした老婆を、村人が明るく音楽を奏で、若い女性二十名が「はね人」の踊りで葬列を見送るシーンです。こうした素晴らしい絵のような風景を背景に、子供達をまじえた素朴な村人達の撮影は、まさに心洗われるような場面になり、黒澤監督ならではのスケールの大きさとたくみな手法を十分感じさせる撮影でした。

来月79歳 黒澤映画の集大成だ

新作「こんな夢を見た」

リハーサル初公開

トシ感じさせぬ

冬夏会

平成元年1月13・14日
草月ホール

1月13・14日と草月ホールに於て冬夏会が行なわれました。その中で両日に渡り演じられた新邦楽「道成寺昔語り」清姫 尾上菊之丞、安珍 尾上菊紫郎、僧正 板東百々三らと共に若獅子グループ6名が出演、迫力あふれる舞台を披露しました。

◇ ◇ ◇
次回の冬夏会を左記の通りお知らせします。若獅子グループのメンバーが「入鹿」(構成海津勝一郎、振付尾上菊之丞)に出演いたします。

これは大化の改新で殺される曾我入鹿をテーマに、ベートーベンの弦楽四重奏曲第15番にあわせて踊ります。

クラシック音楽と日本舞踊が、どの様な融合をみせるか、楽しみな作品です。

日時 7月20日(木)・21日(金)
午後2時・6時30分開演
場所 ABC会館ホール
演目 双魚譜(そうぎよふ)
尺八と二十弦等のために入鹿(いるか)

若獅子グループが
家元尾上菊之丞の
「道成寺昔語り」に
出演

しあわせ家族はあなた自身の心がけ

太陽と緑のエキス
自然性植物質 まこも飲料

マコモ

特許

東京都渋谷区代々木1丁目31-15 さくらビル2F
株式会社 ミリオンマコモエージェンセンター
〒151 TEL 03 (370) 1771 (代)

TVCMでも好評の青森ヒバ土台の薬木住宅

人と家の健康を願う

(株)中央住宅

中央住宅 本社 〒343 埼玉県越谷市瓦曽根3-8-43
TEL (0489)65-2111(代表)
■建設業 建設大臣免許 (特62) 8156

おーやれが
和装、こしの
お召物と粋にし
フォーマルにも演出
する名脇役ですー

アウター&インナー
おしゃれウェアー
新宿駅東口・マイシティ4階

津田家

(三五二)三四八九

Manufacturers & Exporters
DAIWA SPARK WHEEL CORP.

25-19, 5-Chome, Nijjuku, Katsushika-ku, Tokyo, Japan
Phone: Tokyo 607-8081
Established 1931

写植工房 amano
野島豊子

八王子市中野山王3-5-23 山王ビル205
☎0426-26-5620

有限会社
創建

江東区大島2-7-13
☎03-682-8381